

対象国の条件:

研修コース番号:201984534-J002

案件番号:201984534

主分野課題:社会保障/障害者支援

副分野課題:都市開発・地域開発/地域開発

使用言語:英語

案件概要

開発途上国で専門的支援を受ける知的・発達障害者数は極めて少ない。そして、彼らの生活水準は低く、非障害者が有する人権が認められていないことも多い。一方、彼らの特性<日常的に、かつ、生涯を通して周りの人の支援を必要とする>を考えれば、地域住民の理解と支援があれば豊かな生活を送ることが可能である。知的・発達障害者支援は、日常を共有する地域住民の活動として捉えることが重要である。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

知的・発達障害者を支える地域活動を促すための活動計画が作成され、所属組織で共有され、事業化される。

【成果】

1. 知的・発達障害者が、非障害者同様、人権を有していることを理解する。
2. 公的支援が十分でなくとも、地域の理解と適切な支援の提供により、知的・発達障害者の社会参加が可能であることを理解する。
3. 自国の相互扶助精神が、弱者支援の資源として有効であることに気付く。弱者支援における住民活動の役割と可能性を知る。
4. 住民活動による知的・発達障害者支援事業の作り方、支援方法を習得する。(PLA手法の取得)
5. 日常的な地域活動により知的・発達障害者を支援することが可能であることを知る。帰国後の事業を計画する。(活動計画の作成)
6. 事業化の交渉力を獲得する。(在外補完研修)

【対象組織】

1. 社会福祉・社会保障分野を担当する中央または地方政府の行政機関
2. 障害者支援、社会開発分野のNGO

【対象人材】

1. 障害者支援、社会開発、地方行政のいずれかの分野で業務経験があること。(3年以上の業務経験があることが望ましい。)
2. 十分な英語能力を有すること。

内 容

1. 本邦研修
 - (1) 講義/視察 ア.インクルーシブ/特別支援教育、イ.リハビリテーション、ウ.啓発活動、エ.雇用促進、オ.障害当事者の自己啓発、カ.自立生活 等
 - (2) 討論/分析 自国の知的障害者を取り巻く環境に関して
 - (3) PLA (参加型学習と行動) 手法の習得
 2. 在外補完研修 (カンボジア)
 - (1) PLA 手法の適用 (カンボジア農民とともに) (2)活動計画の作成
 3. 帰国後
 - (1) 活動計画の所属組織との共有 (2)活動計画の事業化
- ※KCCP「知識共創 (Knowledge Co-creation)」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

本邦研修期間

2020/1~2020/2

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA東京 (人間計画)

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2019~2021

主要協力機関

調整中

**特記事項
及び
ホームページ**

公益社団法人日本発達障害連盟 <http://www.jlidd.jp/>
本コース帰国研修員向けのHP <http://www.jlidd.jp/gtid/top.html>